



# ベルツスポーツクラブ バス遠征 安全対策マニュアル

安全運行・行動管理指針

---

# 01. 出発前の準備と計画

安全な遠征は、出発前の正確なスケジュール設計と確実な連絡ルート構築から始まります。

# 計画の策定と緊急連絡ルート




## 運行計画の策定と共有

- 1.5～2時間毎に必ず休憩を設定
- 目的地までの詳細なルートを確認
- 全世帯へ行程表を事前に一斉共有

## 緊急連絡体制の確立

- 引率者、クラブ、保護者を結ぶホットライン
- 緊急連絡先や血液型を網羅した名簿の常備
- 事故発生時の初期連絡ルートの周知

# 乗車前の健康状態チェック

-  **十分な睡眠の確認**：前日の睡眠不足や、朝の体調に不安がないか乗車前にヒアリングします。
-  **乗車前の検温徹底**：発熱や風邪症状がある選手は、無理をさせず参加可否を厳格に判断します。
-  **酔い止め薬の管理**：車酔いしやすい選手は、乗車する30分前までに確実に服用を完了させます。

---

## 02. 移動中・車内の安全管理

乗車中は事故トラブルだけでなく、車酔いや不意のケガが発生しやすいデリケートな空間です。

# 車内の徹底ルール



## シートベルト完全着用

補助席を含む全員の常時着用を義務化。走行中の立ち歩きや座席移動は厳禁。



## 危険な行動の禁止

窓から顔や手を出さない。走行中の大声など迷惑行為の禁止。



## 車酔い・衛生対策

エチケット袋や着替え、消臭剤を即座に使える位置に常備。定期的に車内を換気。

# 命を守るシートベルト徹底

## 🌀 スタッフによる目視確認

出発時はもちろん、SA・PAでの休憩から戻り再乗車した際にも、引率スタッフが全員のベルトロック状態を「必ず目視でダブルチェック」します。

## 👉 ドライバーとの緊密な連携

乗客全員のシートベルト着用ロックが完全に完了したことをスタッフが確認し、合図を出すまでバスを発車させないルールを徹底します。



## 03. 休憩所（SA・PA）での行動管理

迷子や駐車場での接触事故リスクが最も高まる、遠征中最大のチェックポイントです。

# 休憩所の安全とバディ制

## バディ制による迷子防止

- ・移動時は常にペアまたはグループ行動
- ・一人きりでの行動時間を完全にゼロ化
- ・危険な駐車場内は全員一列で静かに歩行

## ダブルカウント点呼

- ・「バス降車時」「再出発前」に実施
- ・指導者間でのダブルチェックを義務化
- ・人数不一致時は即座にその場で搜索開始



## 04. 緊急時・トラブル発生時の対応

万が一の際にも、全員がパニックに陥らず最善の手を打てるよう、フローを徹底周知します。

# 緊急事態初期対応フロー

発生事案	一次対応アクション	緊急連絡フロー
車両事故・災害	添乗員の指示に従い、ガードレール外など安全地帯へ速やかに避難させる。	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 119・110番緊急通報</li><li>2. クラブ代表者へ連絡</li><li>3. 保護者連絡網の稼働</li></ol>
重病・急性ケガ	遠征先最寄りの「救急病院」へ引率者が1名以上付き添い、速やかに救急搬送。	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 当該保護者へ直ちに報告</li><li>2. 保険証コピーの提出提示</li></ol>
軽傷・軽度の不調	常備薬、冷却シート、コールドスプレー等による適切な初期応急手当。	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 指導者の経過観察判断</li><li>2. 帰宅時に保護者へ申し送り</li></ol>



# 安全第一で、最高の遠征を。

事前の確実な準備と、徹底した車内・現地の安全行動が、  
子どもたちの笑顔と素晴らしい体験を守る確かな基盤となります。

「全員でルールを守る、見守る」姿勢を、クラブ一丸となって実践しましょう。